

てがたやま 公営住宅整備事業「秋田県営手形山一号住宅」

受賞機関 秋田県

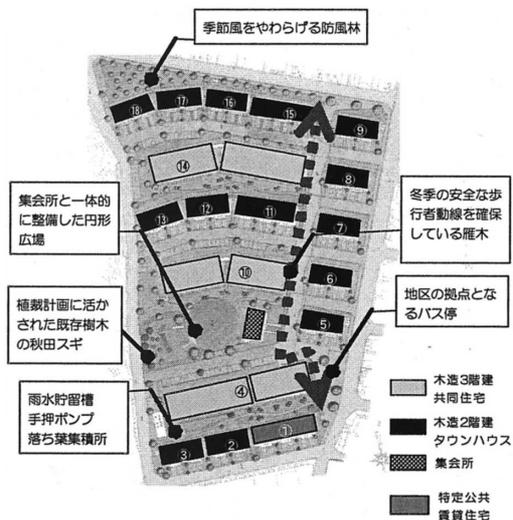
事業の概要

県営手形山一号団地は、老朽化した簡易耐火構造2階建の住宅を建替え（平成12～16年度）150戸の団地を計画した。

当県は公共建築において木材活用を推進する政策を掲げ、当団地についても「木材を活用した団地」として、木造2階建タウンハウスと、木造3階建共同住宅による「木の暖かみ」が感じられる街並み整備を行っている。

施設概要

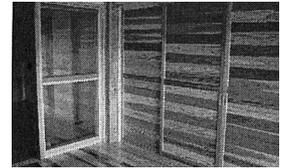
- 所在地：秋田県秋田市
- 戸数：150戸（公営住宅138戸、特定公共賃貸住宅12戸）
- 敷地面積：約2.5ha
- 用途地域：第1種中高層住居専用地域
- 建築面積 / 延床面積：7,232㎡ / 13,542㎡
- 木造3階建住宅
 - 戸数 / 棟数 / 構造：84戸 / 3棟 / 木造準耐火
 - 住戸タイプ：2DK, 3DK
- 木造2階建タウンハウス
 - 戸数 / 棟数 / 構造：66戸 / 15棟 / 在来木造
 - 住戸タイプ：2LDK, 3DK
- 総事業費：約36億円



配置図

事業の特徴

秋田スギ材の積極的活用スギを、木造2階建のタウンハウスの構造材ばかりでなく、内外装仕上げ材等に積極的に使用している。



スギ材活用の内部

夏冬も快適な団地空間南北に計画した歩道に沿って「雁木」を計画し、冬季の安全な歩行者動線を確保している。



雁木

リサイクルに配慮した建替計画

既存PC住棟のパネルを駐車スペースの床に採用したり、中庭に菜園用の雨水貯留槽を設けたりと、リサイクルに配慮している。



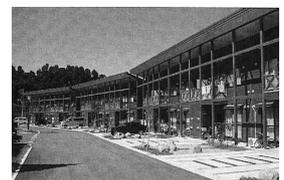
雨水貯留槽

木造3階建住棟の採用

県内では初めてとなる、木造3階建住棟の共同住宅です。この構法は2方向ラーメン構造なので、間仕切り壁はすべて非耐力壁であり、将来の社会的ニーズの変化に対し、住戸の間取りを変更することが容易となっている。



木造3階建共同住宅



木造2階建タウンハウス

おわりに

このように、少子高齢化が進む県としては、子どもからお年寄りまで「安心して暮らせる、人にやさしい住宅」の建設により、市町村のモデルとなる団地を整備している。